

霧島山のめぐみめぐる

# えびの

山と水、米と肉。温泉と四季のまち。

広報

12 2019  
DEC  
vol.638

Ebino city  
Public relations

特集  
自治会に加入しましょう

## 今月の掲載記事

飯野高校生 未来への挑戦!  
平成 30 年度決算報告  
第 33 回田の神さあの里産業文化祭  
pick up information  
TOPICS  
Face 人 坂本文夫さん





# 自治会に加入しましょう



## 自治会とは

自治会は、一定の区域に住む人々が自主的に構成する任意の団体です。区域内に住んでいる人は、誰でも自治会員になることができます。加入するのに条件はありません。

自治会では、日常生活の中でのさまざまな地域課題を解決し、住民同士が協力・連携して自分たちのまちを住みやすくしていくことを目的として活動しています。

自治会は、自分たちのまちを住みよいまちにするため、市民生活に直結した重要な役割を担っています。

## 重要性が増す自治会

少子高齢化が進む中、一人暮らしの高齢者の増加や、核家族化の進展などにより、個人や家族だけでは解決できない問題が、ますます増えています。

## ●災害時の助け合いの場

ここ数年、日本各地で大規模な地震や水害などの災害が発生しています。

地域の一員として、協力し合い、助け合って、住みよい地域づくりに参加して、自分たちの地域は自分たちで守りましょう。

自治会に加入したい人は、居住している地区の自治会長に連絡をしてください。居住している地区の自治会長の連絡先などが分からないときは、市民協働課にお問い合わせください。

## 住みよい地域づくりのために

自治会は、地域に住む一人一人が自分たちの地域のことを考え、自分たちの住む地域をより快適で住みよい環境にするために、お互いに協力し合い、安心安全なまちづくりを目指して、さまざまな自治会活動を行っています。

また、明るく住みよい地域づくりを目指し、地域の特性を生かした自治会を推進するために、各種団体と連携を図りながら人づくり・地域づくり・組織づくりを行っています。自分の住む

す。

## ●地域課題の発見と解決の場

ごみステーションの維持管理、道路・公園の整備、防災・防犯などの地域環境の整備に関するさまざまな問題は、個人や家庭では解決するのが難しく、地域の住民が力を合わせなければ解決できない問題です。

これらの問題について、自治会では、十分話し合い、利害を調整し、地域全体の共通課題として、一つずつ解決していきます。

## Interview

### 触れ合いが大切です



えびの市自治会連合会  
会長  
宮浦佳紀さん

自治会は、高齢者、障がい者、若い人がどんな風に触れ合うかが重要だと考えています。この皆さんが、お互いに助け合い、寄り添うことができれば自治会の活性化につながると思います。

新しい加入者には、地域に触れ合ってもらわなければならないと思います。自治会が交流できる場をつくって、お互いに顔を知り、つながりを保つ取り組みが重要で、地域にとけ込んでもらうことが大切です。

従来からのやり方も大事ですが、新しい人の意見も取り入れていくことも必要です。

### 活動に興味を持ってもらいたい



飯野駅前自治会  
会長  
戸山義輝さん

少子高齢化の影響で、伝統的な祭りなど、いろいろな地区の行事を行うことが困難になってきていますが、できるだけ続けていきたいと考えています。

支え合い事業や茶飲み場など地域の人が交流を深められるものを持続していくことが大切だと思っています。

自治会に入っていない人には、そのような催し物に来てもらって、気軽に参加してもらい、興味を持ってもらうことが重要だと思っています。

戸山さんは令和元年度自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰を受賞しました。



# 自治会活動が 広げる地域の輪

○市から自治会への主な活動助成

市では、次の自治会の活動などに助成を行っています。ぜひ、ご利用ください。

- 【地域活性化活動奨励事業】  
学習および活動体験に伴う講師謝金に対して助成します。
- 【世代間交流体験活動事業】  
地域の子どもから大人までが一緒に世代を越えた交流活動・伝承行事を実施する自治会に対して、報償金を支援します。
- 【自治組織活動助成金（ぶらんど21助成金）】  
自治会が行う生き生きとした地域づくり活動に対して助成します。
- 【自治公民館等整備費補助金】  
地域自治活動の推進を図るため、自治会が自治公民館等の整備を行う場合に、その経費の一部を予算の範囲内で補助します。

えびの市には、65の自治会があります。それぞれの地域で、さまざまな行事を行っています。自治会が取り組んでいる主な活動内容は次のものです。

## 【自主防災・互助活動】

地震・水害・火災等の災害に対処するための自主防災組織を設置したり、災害等に遭ったときには、お互いに助け合ったりしています。また、一人暮らしの高齢者等の見守り活動もしています。

## 【地域情報の提供】

自治会が実施する活動やその他の団体等が行う催し物などの地域情報を回覧して、皆さんの生活に必要な情報を提供しています。

## 【交通安全】

地域内での交通事故を未然に防ぐため、危険な場所にカーブミラーを設置するための申請や、通学路・生活道路での交通安全指導を行っています。

## 【防犯灯の設置・地域安全】

夜道を安心して歩けるよう、防犯灯の設置・維持管理をしています。また、犯罪のない安心して暮らせる地域にするために、見守り活動などに取り組んでいます。

## 【環境美化】

ごみステーションの設置と維持管理、道路や側溝、地域の広場・公園の清掃

など、環境美化活動を行っています。

## 【各種団体の育成・協力】

まちづくり協議会に協力したり、子ども会育成会、高齢者クラブ、郷土芸能保存会など、地域団体の育成に努めています。

## 【行政との協働】

地域において、行政と自治会が、それぞれの役割を認識し、自治会だけでは解決できない課題について、行政と協働で解決していきます。また、行政や各種団体からの情報を広報紙の配布や回覧などを通じて伝えます。

## 地域の輪を広げる

日々の暮らしの変化や少子高齢化などで住民同士のつながりが希薄になる中、自治会は人と人とのつながりをつくる大切な役割を果たしています。自治会活動に参加することは、地域に住む子どもから高齢者までさまざまな人の顔を知ることができ、災害時などのいざというときに役に立ちます。

また、地域の伝統的な文化や人との触れ合いを通じて、地域の良さを再認識することができます。それは、未加入者に声掛けをするときに役に立ち、地域の輪を広げる原動力となります。

☎ 市民協働課 市民協働係  
35・1118（直通）



【京町自治会】竹はしらかしで一年間の健康を願う



【東原田自治会】グラウンドゴルフで交流を深める



【東長江浦下自治会】せん定や草刈りをして道路をきれいに



【南岡松自治会】防災訓練を行い災害時に備える



【今西自治会】豊年祭りで収穫を祝う



【榎田自治会】百歳体操で地区民の健康維持を図る



【上原田自治会】花植えをして環境美化



【末永自治会】カーブミラーを清掃して事故を防ぐ





## 高校生発案観光列車

9月3日、D & S列車「海幸山幸」で行く高校生発案観光列車 in えびのが運行されました。飯野高校普通科3年の生徒が地域探究活動の一つとして発案したものです。JR吉都線を盛り上げようと、海幸山幸をチャーターし、都城駅からえびの駅間を走らせました。

# 飯野高校生 未来への挑戦！

## グルメコンテスト

8月17日、宮崎市で「アサヒビールプレゼンツで当地グルメコンテスト 2019 in まつり宮崎」が開催されました。

飯野高校生とSAP（若手農業者団体）が考案した「飯野高校×SAP 青春SAPライス～霧峰牛を添えて～」を出品しました。



市内唯一の県立高等学校である飯野高等学校。同校は特色ある教育を進め、全国でも注目を集めています。飯野高校の教育は、教科だけの学習だけでなく、生徒たちは学校内外でいろいろな体験を通して学んでいます。

今年は、卒業生も含めて飯野高校生が企画した催しものが多く実施されました。プレーパーク、えびのフレッシュフェス2019、高校生発案観光列車などです。また、SAP（若手農業者団体）と連携して活動を展開したり、ボランティアとして行事に参加したりしています。

今回は、えびのを盛り上げたいと頑張っている飯野高校生の活動を紹介します。

## ボランティア

京町温泉マラソン大会や霧島山モンテフェス in えびの高原、産業文化祭、飯野駅イルミネーション設置など市内の各所でボランティア活動を行っています。



## プレーパーク

5月5日、八幡丘公園で行われました。プレーパークとは、子どもたちが想像力で工夫して遊びを作りだすことができる遊び場のことです。飯野高校生4人が中心となり行われました。



## 起業家育成セミナー

えびの市起業支援センターが行っている起業家育成セミナー。自分の将来を考えて参加し、村岡浩司氏をはじめとした講師の講話を熱心に聞いています。



## えびのフレッシュフェス2019

8月25日、京町温泉駅観光交流センターで行われました。水鉄砲で行う水合戦で、卒業生が企画し、在校生と京町・吉田温泉活性化プロジェクトと共に開催しました。参加者は、大人も子どもも楽しんでいました。





目的別の歳出の状況 ※( )は前年度比

- ◎**議会費**・・・1億4,540万円 (3.5%増)  
議会の活動に要する経費
- ◎**総務費**・・・24億7,974万円 (1.3%増)  
市有財産の維持管理、戸籍、統計、徴税、選挙、職員の人事などに要する経費
- ◎**民生費**・・・41億7,207万4千円 (2.5%減)  
社会福祉(身体障がい者・高齢者・児童に関する福祉)や生活保護などに要する経費
- ◎**衛生費**・・・10億5,744万4千円 (0.9%増)  
市民が健康で衛生的な生活環境を保持するためや、ごみの処理などに要する経費
- ◎**労働費**・・・1,278万9千円 (20.9%増)  
雇用対策などに要する経費
- ◎**農林水産業費**・・・11億5,343万2千円 (16.2%増)  
農業委員会や、農業・畜産・林業の振興などに要する経費
- ◎**商工費**・・・4億2,889万2千円 (19.7%増)  
商工業の振興や、観光事業、企業誘致などに要する経費
- ◎**土木費**・・・14億1,398万円 (2.5%増)  
道路の新設や維持管理、市営住宅の維持管理などに要する経費
- ◎**消防費**・・・12億7,278万1千円 (28.8%増)  
消防や災害対策に要する経費
- ◎**教育費**・・・10億908万9千円 (19.8%増)  
小・中学校、教育委員会、社会教育や、市内体育施設の維持管理などに要する経費
- ◎**災害復旧費**・・・8,891万5千円 (450.9%増)  
災害によって生じた被害の復旧に要する経費
- ◎**公債費**・・・6億9,320万2千円 (5.2%減)  
市が借りているお金の返済に要する経費

用語の説明

【**地方交付税**】地方公共団体が等しくその行うべき事務を遂行できるよう、一定の基準により国を通じて交付されるお金。  
 【**国庫支出金**】国から地方公共団体に支出される補助金や委託金。  
 【**地方債**】市がさまざまな事業を行うとき、長期にわたって借りるお金。  
 【**自主財源**】市が自ら徴収または収納できる財源。市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入など。  
 【**依存財源**】国や県により交付されたり、割り当てられたりする財源。地方交付税、国庫・県支出金、地方譲与税、地方債など。  
 【**義務的経費**】歳出のうち、その支出が義務付けられ、任意に削減できない経費。人件費、扶助費、公債費。  
 【**投資的経費**】歳出のうち、その支出が建物、学校、道路など、資産形成に向けられる経費。  
 【**人件費**】市職員給与、市議会議員・各種委員報酬など。  
 【**扶助費**】社会保障の一環として、子ども、高齢者、身体障がい者、生活困窮者等に対して行う支援に要する経費。児童手当、医療費助成など。  
 【**普通建設事業費**】投資的経費のうち、道路、橋、学校、庁舎のような公共用または公用施設の新設増設などの建設事業に要する経費。

■問い合わせ先  
市財政課 財政係  
☎ 35 - 3716 (課直通)

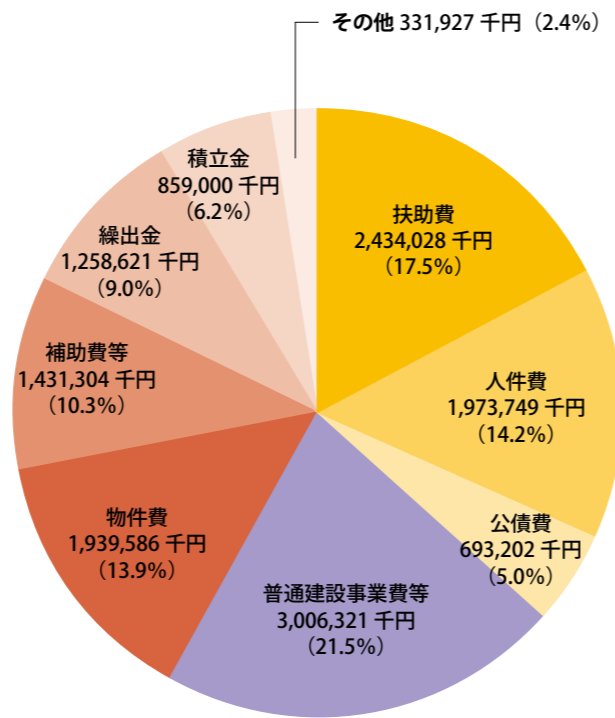
平成30年度

# 決算

一般会計 **歳出** 総額

139億2,773万8千円

対前年度比 3.9% 増



オレンジ系：義務的経費 紫色：投資的経費 赤色系：その他の経費

当てられたりする依存財源に分けられます。歳出は、補助費等、普通建設事業費などの増により、対前年度比3・9%の増となりました。歳出を性質別に大別すると、人件費・扶助費・公債費の合計である義務的経費、普通建設事業費・災害復旧事業費の合計である投資的経費、物件費・繰出金・補助費等・積立金などのその他の経費に分けられます。

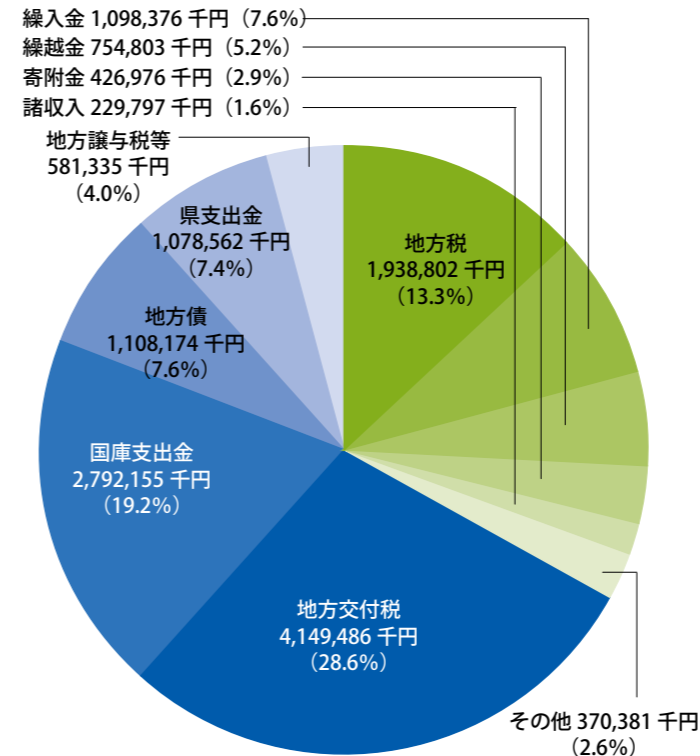
# 報告

【地方財政状況調査】

一般会計 **歳入** 総額

145億2,884万7千円

対前年度比 2.6% 増



※( )は構成比 緑色系：自主財源 青色系：依存財源

平成30年度一般会計の決算状況は、歳入総額145億2,884万7千円、歳出総額139億2,773万8千円で、差し引き6億1,109万9千円となりました。歳入は、国庫支出金、繰越金などの増により、対前年度比2・6%の増となりました。歳入は、市が自ら徴収または収納できる自主財源と、国や県から交付されたり、割り

平成30年度  
一般会計の決算状況

特別会計・企業会計決算

【単位:千円】

区分	歳入	歳出	
国民健康保険特別会計	3,322,484	3,279,698	
後期高齢者医療特別会計	664,011	662,839	
介護保険特別会計	保険事業勘定	3,345,530	3,213,714
	介護サービス事業勘定	17,303	16,653
産業団地整備事業特別会計	73,300	73,244	
水道事業会計	収益的収支	355,186	375,890
	資本的収支	58,259	155,783
病院事業会計	収益的収支	790,404	838,755
	資本的収支	25,972	41,268

国民健康保険のように、特定の人たちの相互扶助を目的とした事業は、原則として、利益を受ける人たちが負担するお金で運営します。そのため、一般会計とは別の「特別会計」となっています。

市民負担の状況

【単位:千円】

区分	決算額	一人あたり	一世帯あたり
市民税(個人)	555,008	29	57
固定資産税	998,788	52	103
軽自動車税	82,939	4	9
市たばこ税	123,974	6	13
入湯税	3,326	0.2	0.3

住民基本台帳人口19,271人、9,719世帯で算出。(平成31年3月31日現在)

※滞納繰越分を除きます。  
※各税目は、納める対象者が決まっており、各個人の税負担額はそれぞれ違いますが、ここでの一人・一世帯あたりの金額は、単純に決算額を人口・世帯数で割って算出しています。

財産の状況

◎公有財産、物品

区分	面積・数量等
土地	10,325,724.63㎡
建物	138,538.85㎡
物品	物品のうち公用車131台

◎債権、基金

【単位:千円】

区分	29年度末残高	増減	30年度末残高
有価証券	16,644	0	16,644
出資による権利	84,916	5,470	90,386
債権	434,533	8,420	442,953
基金	7,865,050	△202,055	7,662,995

市債の借入残高の状況

【単位:千円】

区分	29年度末残高	増減	30年度末残高
一般会計	8,415,215	459,372	8,874,587
水道事業会計	1,921,536	2,448	1,923,984
病院事業会計	18,029	△2,740	15,289
産業団地整備事業特別会計	-	73,100	73,100
一時借入金	-	-	-

特別会計・企業会計決算、市民負担の状況、財産の状況は【平成30年度決算書】から





## 第33回 田の神さあの里 産業文化祭

11月16日・17日、市文化の杜で「第33回田の神さあの里産業文化祭」が行われました。これは、市とJAえびの市、市教育委員会が共催で毎年行っているものです。

市文化センター内では、園児から高齢者までの絵や写真、手芸品、生花など手作りの作品の展示が行われ、図書館東側駐車場では、農産物などの販売、防災食育センター周辺では、えびの警察署・えびの消防署・陸上自衛隊の展示などが行われました。また、特設イベント会場では、歌謡ショーなどのステージショー、市内小中学生の読書感想文・感想画の表彰式などが行われました。

1日目に行われた田の神さあおどり大会には7団体約170人が出場し、特設イベント会場を踊りながら練り歩きました。

2日目に行われた郷土芸能発表会には、市内の郷土芸能保存会4団体が出場し、地区に伝わる芸能を披露しました。会場には、2日間で約1万2千人が訪れ、買い物や催しものを楽しんでいました。

☎ 市企画課 政策係  
35・3712（直通）



## ●身近なものに例えると・・・

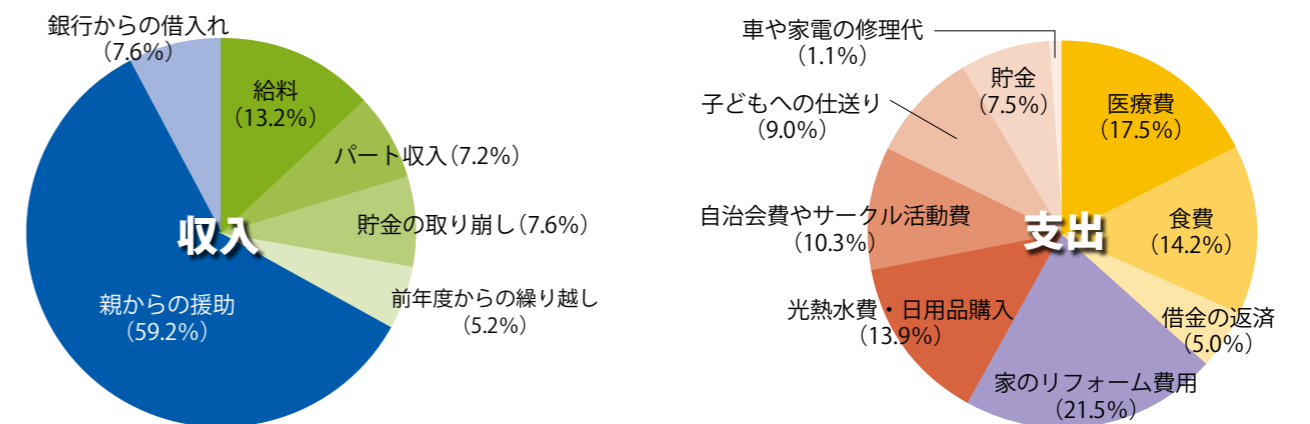
平成30年度一般会計の決算を、皆さんにわかりやすくするため、年間の収支を500万円として、家計に例えてみました。

収入		支出	
給料 (地方税)	67万円	食費 (人件費)	68万円
パート収入 (使用料・手数料・財産収入など)	35万円	医療費 (扶助費)	84万円
貯金の取り崩し (基金からの繰入金)	38万円	借金の返済 (公債費)	24万円
前年度からの繰り越し (繰越金)	26万円	家のリフォーム費用 (普通建設事業費など)	103万円
親からの援助 (地方交付税・国庫支出金など)	296万円	光熱水費・日用品購入 (物件費)	67万円
銀行からの借入れ (地方債)	38万円	車や家電の修理代 (維持補修費)	5万円
		自治会費やサークル活動費 (補助費等)	49万円
		子どもへの仕送り (繰出金)	43万円
		貯金 (積立金・投資および出資金など)	36万円
<b>合計</b>	<b>500万円</b>	<b>合計</b>	<b>479万円</b>
		次年度への繰り越し	21万円

地方税や扶助費などの用語を給料や医療費など身近なものに例えています。この家計簿では、毎年約500万円が必要なのを、親からの援助(296万円)や銀行からの借入れ(38万円)などで補っていることがわかります。

## 収入・支出の割合

収入と支出、それぞれを割合で表すと、下のようなグラフになりました。収入では、「親からの援助」に大きく頼っていること、支出では「家のリフォーム費用」が最も多いことがわかります。





福祉

### 民生委員・児童委員に委嘱状を交付

市福祉事務所 福祉係 ☎35-1115 (直通)

【民生委員・児童委員】(R1.12.1～R4.11.30 3年間) (敬称略)

【飯野地区】

担当区	氏名	担当区	氏名
堀浦	西道りえ	西上江・中上江	園田軍志
上大河平	高木愛壽	上上江	松元勝子
下大河平	森高益夫	上上江	竹本秋行
下大河平	新久保一夫	駅前	田中千鶴子
杉水流・五日市	篠原なみ子	駅前	大出水裕見子
東原田	上島久男	上原田	伊地知興子
麓	柘山政雄	中原田	大迫建一
麓	久保芳照	南原田	武田クミ子
町・片馬場	漆尾憲寛	南原田	齊藤克子
町	古川慶一	田代	上野憲昭
前田・坂元	中山千賀子	出水	木村哲治
芋畑・高野	西原道枝	末永	新原正次
大明司・山内	原田恵利子	白鳥	坪倉千鶴子
池島・今西	長尾幸子		

【加久藤地区】

担当区	氏名	担当区	氏名
松原・麓	加藤則子	大溝原・灰塚	西田和政
前松原	吉田勉	永山	吉永政治
中島	岸田節子	湯田	本田敏光
中島	瀬戸山チリ	東川北	茶菌美次
西郷	美坂恵子	榎田・牧の原	柳田昭雄
栗下	上野修一郎	東長江浦上・下	井園甚市
西長江浦上・下	稲重久次	尾八重野	谷岡忠光

【真幸地区】

担当区	氏名	担当区	氏名
水流	佐々木壽徳	京町	紫雲宣子
南・北昌明寺	野田幸一	京町	田代重光
東・中内堅	福嶋康夫	上向江・下浦	亀園育子
西内堅	田中幸	中浦	末原和子
溝ノ口・北岡松	上村義雄	上浦	藤嶋浩三
南岡松	中村夏江	上島内	松元イ子
柳水流・亀沢	下野次男	下島内	一
京町	岡村輝美	西川北	海江田悟

【主任児童委員】

担当区	氏名	担当区	氏名
飯野校区	渡部弘子	加久藤校区	佐藤以津子
上江校区	永田貴子	真幸校区	福重真諭美

【退任された民生委員・児童委員】(R1.11.30付) (敬称略)

担当区	氏名	担当区	氏名	担当区	氏名	担当区	氏名
下大河平	森高まり子	出水	坊野典義	大溝原・灰塚	前田利民	柳水流・亀沢	境田弘子
麓	濱田喜八郎	末永	上園勝夫	東川北	山之内陸子	京町	坂元英敏
芋畑・高野	吹上廣美	松原・麓	山内勇	尾八重野	塩入裕雄	上島内	堀田保
中原田	今村守	西長江浦上・下	出水一美	溝ノ口・北岡松	下原逸男	下島内	今村富雄



12月1日、市総合福祉センターでえびの市民生委員・児童委員厚生労働大臣委嘱状伝達式が行われました。伝達式では、56人の民生委員・児童委員と4人の主任児童委員に委嘱状が伝達されました。伝達式で村岡市長は「地域の課題をみんなで連携して解決していきましょう」と話しました。また、伝達式に先立って、えびの市民生委員・児童委員

退任式が行われました。退任したのは16人です。退任式では、厚生労働大臣感謝状および県知事記念品が8人に、県知事感謝状が8人に贈呈されました。退任者を代表して濱田喜八郎さん(麓)は「私たちは、この活動で、多くの人と出会い、人とのつながりができました。皆さんに、いろいろと助けてもらいました。ありがとうございました」とあいさつしました。

商工

### えびの市物産フェアin大阪が行われました

市観光商工課 商工係 ☎35-3728 (直通)



えびのの特産品を販売しました



多くの人が会場に訪れました

市では、11月23日・24日に大阪府堺市のショッピングモールで、8回目となる「えびの市物産フェアin大阪」を開催しました。このフェアは、株式会社南海グリル、関西えびの会の協力のもと、えびの市の物産品を広く知ってもらうことと物産品の販路拡大を目的に行ったものです。フェアでは、えびの産の新米や新鮮な野菜、豚や鶏の加工品、焼酎、蜂蜜など

を販売しました。また、フェア中には、両日とも先着300人に空くじなしで、えびの産ヒノヒカリの新米が当たる抽選会などを行い、えびの市を多くのの人にPRしました。会場には、多くの来場者が訪れ、野菜はほぼ完売しました。また、来場者の中には、宮崎県出身の人もいて、商品を懐かしそうにながめながら購入していく人もいました。

教育

### 第10回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会

市社会教育課 市民体育係 ☎35-2268 (課直通)



【代表選手名簿】

区分	氏名	区分	氏名	区分	氏名	区分	氏名	区分	氏名
監督	三浦近男	小学生男子	赤崎海太	中学生男子	松岡大夢	高校生	梅北賢志	40歳以上	千代森裕司
コーチ	那須勇一郎	小学生女子	伊塚凜	中学生男子	長友光星	高校生	山毛幹	40歳以上	鶴木竜二
コーチ	吉國敬一	小学生女子	山下菜和	中学生女子	梅北佳代子	一般	谷川尚努	40歳以上	安井広美
小学生男子	加藤瑠維	小学生女子	岡優里	中学生女子	山田祈世	一般	谷口詳	50歳以上	原内陸志
小学生男子	山下凌平	中学生男子	今西貴洋	中学生女子	海江元亜美	一般	作田智宏	50歳以上	出石幸則

令和2年1月13日に宮崎市で開催される第10回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会の、えびの市代表選手が下表のとおり決定しました。補欠を含め22人の選手を選出しています。12月中に行う練習会の結果等で、大会当日に走る12人の選手を決定する予定です。宮崎県庁を午前10時にスタートします。新春の宮崎路を、たすきをつないで走る代表選手たちの勇姿を、ぜひ、間近でご覧になり、声援を送ってください。



11/13

みやぎきニアパワー章受章報告



シニアパワーではつらつと

えびの市はつらつサポーター連絡会が、「令和元年度みやぎきニアパワー章」を受章したことを市長に報告しました。この章は、宮崎県が、シニアパワーを生かした活動を積極的に行う個人や団体を顕彰し、授与しているものです。同会の佐々木さとみ会長は、「みんなで喜びを分かち合いながら、今後も健康寿命を延ばすために、笑顔で楽しみながら活動を続けていきたい」と話していました。

11/10

国際交流祭り



ダンスや歌で交流

市国際交流センターで「国際交流祭り」が行われました。これは、市民と外国人との交流の場として、市国際交流センターの主催で行われているものです。会場では、日章学園九州国際高等学校の留学生OBと飯野高校生による報告会や各国の歌の披露、ダンスの披露などが行われました。手作りマルシェや綱引き大会なども行われ、訪れた人は交流を楽しみました。

11/8

第15回えびの市米・食味コンクール



手塩にかけたお米で競う

「第15回えびの市米・食味コンクール」がえびの市農協本店で行われ、市内から約150点の応募がありました。審査では、農業関係者など約70人の審査員が、外観、香り、味などを評価しました。審査の結果、「ヒノヒカリ」の部は池田満次さん(下大河平)、「にこまる」の部は柘山義臣さん(西長江浦下)、団体の部は下大河平地区が最優秀賞に輝きました。

10/26  
・27

県中学校秋季体育大会テニス競技



テニス競技で好成績

宮崎県中学校秋季体育大会のテニス競技が宮崎県総合運動公園で行われました。同競技に出場した加久藤中学校の生徒たちは、男子団体が優勝、男子ダブルスで優勝(尾山琉仁くん・吉留駿斗くん)、準優勝(有木悠斗くん・高田圭介くん)、女子ダブルスで準優勝(松坂はなさん・山下日葵さん)、男子シングルスで3位(川崎翼くん)と好成績を収めました。

11/14

自衛官募集の協力を感謝状



市の協力に感謝

市役所で防衛大臣からの感謝状伝達式が行われました。これは、市が長年にわたり自衛官の募集に積極的に協力してきたことが評価されたものです。伝達式では、宮崎地方協力本部本部長荒井氏から村岡市長へ感謝状が渡されました。荒井本部長は「自治体に感謝状を送ることは珍しいことです。これからも協力をお願いします」と話していました。

11/12

企業立地協定調印式



情報サービスの企業が進出

市とセンコービジネスサポート株式会社が企業立地協定を締結しました。これは、地域産業の振興と雇用機会の拡大を図ることを目的に結ばれたものです。同社は、市民を中心に求人募集し、プラッセだいわ2階で令和2年4月からデータ入力代行事業やアウトバウンド事業(コールセンター)などを行います。情報サービスの企業がえびの市に進出するのは初めてのことです。

11/9  
・10

基山町・えびの市少年野球交流大会



好球必打

王子原野球場・ソフト球場で「第24回基山町・えびの市少年野球交流大会」が行われました。これは、佐賀県基山町とえびの市少年野球チームの技術向上と両市町の親睦と交流を図る目的で行われているものです。また、6年生選抜試合や指導者・保護者対抗戦も行い、交流を深めました。両市町から4チームずつ参加し、市町対抗で試合を行いました。



11/21

留学生との交流会



### 中国の文化を体験

加久藤中学校で中学1年生と日章学園九州国際高等学校留学生との交流会が行われました。交流会で、中学生は加久藤中学校の紹介をし、留学生は中国語での自己紹介、じゃんけん、数の数え方などを中学生に教えました。中学生を代表して北田莉桜さんが「言葉や文化は違いますが、楽しい時間を過ごせて、たいへん貴重な体験ができました」と感想を述べました。

11/19

感謝状を贈呈



### ふるさとへの思いに感謝

鹿児島県日置市在住で、整形外科はやしだ病院院長の林田一夫氏より真幸小、中学校の教育振興を目的に寄附金が贈られました。林田氏は京町出身で、同小、中学校の卒業生です。これまでも同氏は、同小、中学校に図書などを、平成18年の水害の際には市に寄附金を贈り、救命ボートなどの購入に活用されました。同氏のふるさとへの貢献や市民の福祉向上に寄与したことに対して市長が感謝状を手渡しました。

11/16

第50回宮崎えびの会総会



### 第50回総会を祝う

MRTミックダイヤモンドホールで「第50回宮崎えびの会総会」が行われました。宮崎えびの会は、原則としてえびの市出身で宮崎市およびその周辺に在住している人等によって構成し、郷土愛を基に相互の親睦を図る目的で発足しました。同会には、約200人が参加し、節目となる第50回の総会を祝い、同会の創立100周年に向けて会員の親睦を深めました。

11/15

健康増進に関する連携協定締結式



### 市民の健康増進につなげる

市役所で「えびの市と明治安田生命保険相互会社との健康増進に関する連携協定締結式」が行われました。これは市と明治安田生命保険相互会社とが連携して協働による活動を推進し、市民の健康増進やサービスの向上に資することを目的として締結したものです。今後は、健康づくりやがん対策、市民の健康増進などで連携していきます。

11/24

島内139号地下式横穴墓講演会



### 未盗掘古墳は貴重な情報源

市文化センター大研修室で、講演会「島内139号墓の調査とその後の新発見4-未盗掘古墳の世界-」が行われました。これは、市歴史民俗資料館が、講師に鹿児島大学総合研究博物館教授橋本達也氏を招いて行ったものです。講演会では、未盗掘古墳が当時の葬送儀礼や埋葬されている人の地位などを知ることができる完全な情報源であることを説明し、未盗掘古墳であった139号墓の重要性を話しました。

11/20

スペシャルオリンピックス出場報告



### 気合いを入れて頑張りました

石川宏さん(36歳)が市長を表敬訪問しました。石川さんは11月9日・10日に長崎市で行われた「第7回スペシャルオリンピックス日本・九州・沖縄ブロック大会 in 長崎」に出場し、25m自由形、フリーリレー Div2 ①水中の2種目で金メダルを獲得したことを報告しました。この大会は、知的障がいのある人たちが日頃の練習の成果を発表し、さらなる目標を得る機会として行われているものです。

11/16

BE-PAL焚き火CAMP in えびの高原2019



### たき火を囲んでおいしい夕食

えびの高原キャンプ場で「BE-PAL焚き火CAMP in えびの高原2019」が行われました。これはアウトドア誌BE-PAL編集部が監修で行われたものです。県内外から13組46人が参加しました。夕食では、たき火を利用した料理や宮崎県産牛肉のステーキなどを食べました。熊本市から参加した家族は「牛肉もおいしいし、お米もおいしいです」と話していました。





坂本文夫さん

Profile  
さかもとふみお/京町  
/62歳/趣味:映画鑑賞



## E-Bic (エービック) で交流を深めてもらいたい

「これまで参加した高校生や市民の皆さんに少しでも役に立ってほしいなと思います」と話すのは、坂本文夫さんです。坂本文夫さんは、E-Bic (エービック)・えびの市起業支援センター(インキュベーションマネージャー)でインキュベーションマネージャーをしています。インキュベーションマネージャーとは、起業希望者や地域の事業者に対して総合的な事業支援を行う人のことです。「えびのに来て3年目ですが、センターに入居して起業した人が8人います。入居はしていませんが、相談などで利用して起業した人も含めると28人が起業しています」

坂本文夫さんは、起業を考えている人と同センターに入居してもらい、もっと幅広く活用してほしいと考えています。「ここを仕事の場所としてだけでなく、この場所でのいろんな人と意見交換をしてほしいと思っています。そうすることが情報収集にもなり、新たな発見にもつながるからです」

今年度、えびの市起業家育成プログラム運営委託事業として、起業家育成セミナーを飯野高校を主な会場として行っています。「講師の人は、高校生はもちろん、その保護者、起業を考えている人の将来を見据えて計画しました。1月はカリスマ講師木下晴弘氏、2月は脳科学者茂木健一郎氏を招きます。起業を考えている人だけでなく、多くの市民の皆さんに聞いてもらいたいです」

11/30

オリックス西村徳文監督講演会



### 相手を思うことが和の力に

市文化センター大研修室で「生涯スポーツ特別講演会」が行われました。これは、市がスポーツの振興と将来を担う青少年の健全な育成を図るため鹿児島県の湧水町と合同で行ったものです。

講演会は、串間市出身でオリックス・バファローズ監督西村徳文氏を招いて行われ、西村氏は「相手を思い、行動することがチームワークにつながります」と話していました。

11/30

パークゴルフ大会



### プレーを通して親睦を深める

湯田地区河川公園パークゴルフ練習場でパークゴルフ大会が行われました。これは、えびの市パークゴルフ協会が国土交通省九州地方整備局川内川事務所京町出張所の支援を受けて行ったものです。

大会には、市内外から87人の参加者が出場しました。参加者は、親睦を深めながら、プレーを楽しんでいました。

12/2

えびの市商工会チャリティ募金贈呈



### 子ども食堂に役立てて

えびの市商工会からえびの市社会福祉協議会へチャリティ募金の贈呈が行われました。市商工会では、毎年、社会福祉に貢献するため市商工会長杯チャリティゴルフコンペを開催しています。今年も10月19日に行われ、20,500円の募金が集まりました。

同チャリティゴルフコンペ実行委員長長川池光蔵氏から同協議会会長瀬戸崎恵子氏へ「子ども食堂運営に役立ててください」と渡されました。

11/30

MASAKI CUP 2019



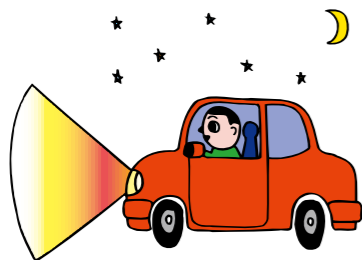
### 技術の向上を目指して

永山運動公園・グリーンパークで「MASAKI CUP 2019」が行われました。これは、真幸フェルサスポーツ少年団が主催し、児童のサッカーの技術向上と指導者などの交流を深めることを目的に、毎年行っているものです。

今回は宮崎県、鹿児島県から24チームが参加しました。選手たちは、フィールド狭くとボールを追いかけっていました。



### 夕暮れ・夜間の交通事故防止



今年も、夕暮れ・夜間時間帯の交通事故発生件数が増加しています。

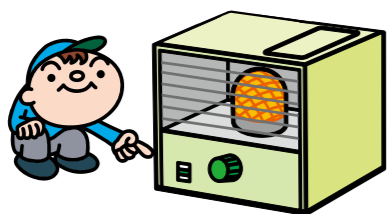
夕暮れ時は交通事故が起りやすい時間帯です。交通事故を防ぐために、次のことに注意しましょう。

夕暮れ時は、歩行者等の発見を早めるために、車も自転車も早めにライトを点灯しましょう。また、ライトをこまめに切り替えましょう。

歩行者は、夕暮れ・夜間の外出時は、必ず明るい目立つ色の服装と反射材を着用しましょう。また、道路を横断する際は、十分に左右の安全確認を行い、基本的な交通ルールを守りましょう。

11月の交通事故発生状況	人身	3件	本年累計	28件
	物件	23件	本年累計	290件

### 正しく使って火災を防止



これからの季節、空気が乾燥した状態が続く、ちょっとした油断から火災が発生します。石油ストーブ等を使用するときは注意しましょう。

- 石油ストーブ使用時の注意点
  - ・ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
  - ・外出するときは、忘れず消火しましょう
- 燃料給油時の注意点
  - ・必ず消火して給油しましょう
  - ・給油中は、その場を離れないようにしましょう
  - ・過剰な給油はやめましょう
  - ・油種を確認し、誤給油に注意しましょう
  - ・給油後は、確実にキャップを閉めましょう

11月の活動状況 [えびの消防署管内]	火災	1件	年計	9件
	救急	76件	年計	789件

### 地域おこし活動



#### 自転車に乗ってえびのを楽しみませんか

今、全国的に自転車を活用したまちづくりが推進されています。観光振興はもちろんですが、災害避難時の道路の交通緩和や健康維持のためにも、自転車の活用が非常に有効的だということが見直されています。

えびのに住む私たちからしてみれば、普段の生活で自動車に慣れていますので、わざわざ自転車を使うことはありませんが、県外や海外から訪れる人たちにとってはどの景色も新鮮なので、自転車で市内を移動することはそんなに苦痛には感じないものです。逆に気軽に道端で立ち止まったり田の神さあの写真を撮ったりできるので、初めてのえびのを楽しんでもらえるかもしれません。

また、ロードバイクなどの自転車愛好者からは「えびの高原、矢岳高原は程よいトレーニングができて、景色もいい。真ん中には川内川が流れていて、土手沿いは車とすれ違うこともなくとても走りやすい道路だ」との声をよく耳にします。京町温泉もあり、いろいろな好条件が揃っているわけです。

皆さんも、持っている自転車でお散歩ならぬ「お散歩」をして、新しい発見を探すのも楽しいと思います。

文・鈴木 尚洋隊員

### 男女共同参画



#### 仕事と生活の調和を取りましょう

皆さんは、「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」という言葉をご存じですか？働くすべての人が、「仕事」と育児や介護地域活動、趣味などといった「仕事以外の生活」とのバランスがとれ、その両方が充実している状態をいいます。

仕事と生活の間でさまざまな問題を抱える人が多くみられます。平成29年度に実施した「えびの市男女共同参画市民意識調査」では、仕事と生活の調和のためには「育児休業・介護休暇制度を利用しやすい職場環境の整備」「労働時間の短縮及び休暇制度の充実」が必要であると多くの人が答えています。

また、ロードバイクなどの自転車愛好者からは「えびの高原、矢岳高原は程よいトレーニングができて、景色もいい。真ん中には川内川が流れていて、土手沿いは車とすれ違うこともなくとても走りやすい道路だ」との声をよく耳にします。京町温泉もあり、いろいろな好条件が揃っているわけです。

文：市総務課 人権啓発室

### いきいき!健康



#### 高齢者の冬の健康管理

寒い冬を事故なく過ごすために、次のことに気を付けましょう。

気温が下がると筋肉がこわばり、また、衣服もたくさん着ることから、動きが悪くなり転倒の心配も出てきます。転倒による骨折から寝たきりになることもあります。冷え込んだ朝の外出は控えるなどの用心も必要です。

ばらった状態で入浴しないようにしましょう。体に負担がかかるだけでなく、溺死する恐れがあります。

文：市介護保険課 萩原保健師



お知らせ I will inform you.

令和2年えびの市消防団出初式

新春恒例の行事として、消防団員および消防職員の団結と士気の高揚を図ることを目的に出初式を行います。全消防団員が参加し、分列行進や分団中隊に分かれて通常点検などの規律訓練を行います。また、消防活動に功績のあった、消防団員や消防職員の表彰も行われます。ぜひ、お越しください。
なお、今回は河川改修工事により湯田橋付近の水位が低いと、一斉放水は行いません。
【開催日時】令和2年1月12日(日) 午前9時～
【場所】えびの湯田地区河川公園(川内川湯田橋下流右岸河川敷) ※雨天時は、えびの市民体育館で開催します。
【問合せ】市基地・防災対策課 基地・防災対策係 ☎35-1119(直通)

ご存じですか「三ない運動」

年末年始は、お歳暮やお年賀など何かと贈り物やお祝いごとをする機会の多いシーズンです。この機会に皆さんに改めて理解してもらいたいのが、きれいな政治、お金のかからない政治の実現、選挙の公正の確保を目指す「三ない運動」(贈らない、求めない、受け取らない)です。政治家が選挙区内の人にお金や物を贈ることはもちろん、有権者が政治家に寄附や贈り物を求めることも公職選挙法により禁止されています。皆さん一人一人が寄附禁止のルールを守って明るい選挙を実現しましょう。
【政治家の寄附禁止の対象例】
①落成式・開店祝などの花輪、葬儀の花輪・供花、病気見舞いなど
②お歳暮、お年賀など
③お祭りへの寄附・差し入れ、町内会の集会・旅行などの催物への寸志・飲食物の差し入れ
④結婚祝(※)、香典(※)、卒業祝、入学祝など
※政治家本人が結婚披露宴、葬式などに自ら出席して、その場で行う場合には、罰則が適用されない場合があります。

【その他禁止されている行為】政治家が選挙区内にある者に対して、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、寒中見舞などのあいさつ状(電報なども含む)を出すことは禁止されています。
※『広報紙「総務省」(2019年12月号)』より参照
市ホームページ(https://www.city.ebino.lg.jp/)に具体的な例をQ&A方式でまとめているので、ご覧ください。

【問合せ】市選挙管理委員会事務局 ☎35-3732(直通)

堆肥を散布したらすぐに耕運してください

主食用米や飼料用稲等の収穫後の牧草および露地野菜の作付け準備のため、堆肥を散布する機会が多くなりますが、散布後の悪臭等の苦情が多く寄せられています。散布後は直ちに耕運するようお願いいたします。また、散布機械等で公道を走行する場合も堆肥が落下しないよう注意をお願いします。万一、落下した場合は、ほうきなどで清掃するなど対策をお願いします。

【問合せ】市畜産農政課 畜産振興室 ☎35-3744(課直通)

シルバー人材センター会員募集

シルバー人材センターでは、健康で働く意欲のある高齢者が知識、経験、技能を生かして地域社会で働けるよう、それぞれに合った仕事を会員に提供しています。あなたの力を地域貢献活動に生かしてみませんか。
【対象】市内に在住の原則60歳以上で、健康で働く意欲のある人
【内容】農作業、除草、草刈り、庭木のせん定、家庭内清掃等の生活支援、屋外清掃、施設管理など
【入会説明会】毎月第3水曜日の午後1時30分からえびの市シルバー人材センターで行います。また、入会希望者の都合に合わせて随時説明会を行います。

【問合せ】えびの市シルバー人材センター ☎25-3411

おすすめの一冊



しろい しろい ころわん
間所ひさこ/作
黒井健/絵
(ひさかたチャイルド)



認知症の人と一緒に作るアルバム自分史
北林陽児/著
山本由子/著
(翔泳社)

ブックランド号

Table with columns: 1月, 時間. Rows: 飯野駅前地区体育館→飯野出張所, 藤橋団地→大平職員宿舎→自衛隊官舎, 岡元小学校→市立病院→さくら苑, ブラッセだいわ→真幸地区体育館→老人福祉センター, 飯野地区コミュニティセンター

心の一首一句 あなたもつくってみませんか。

短歌: 身の芯の寒さに少し温め酒 無重力のごと心は軽し
俳句: 図書館の陽のさす席や十二月
詩: 暖炉
(自註) 田中虎夫

(短歌) 竹下妙子さん ☎ 37-3056 (俳句) 松山良文さん ☎ 33-4904 (詩) ポエム同好会(田中虎夫さん) ☎ 33-2959まで



## 令和2年度放課後児童クラブ入会案内

市では、放課後児童クラブの新規入会児童を募集します。

【対象児童】就労等で保護者が昼間家庭にいない小学1年生から6年生までの児童

【開設時間・利用料金等】

開設時間	[平日・登校日] 放課後～午後6時 [土曜・長期休業] 午前8時30分～午後6時 ※日曜、祝日、年末年始は休み ※令和2年度の開始日は4月1日になります。
利用料金	利用料金 3,000円(月額)、おやつ代等 2,000円(月額) 傷害保険料 800円(年額)

【申請方法】申請期間内に次の提出書類等を、入会を希望する児童クラブ(開設時間中)に傷害保険料800円(手数料は別)を添えて提出してください。

※提出書類の用紙は、各児童クラブまたは市福祉事務所にあります。

【申請期間】令和2年1月6日(月)～31日(金)

【提出書類等】①入会申請書

②就労状況申告書

③就労証明書(父・母ともに必要)

[会社などに勤務している場合] 事業所の証明書

[農業・商業など自営業の場合] 居住している地域の民生委員の証明書

※就労証明書は令和2年4月1日以降に雇用されることが分かるもの。

※3月で退職する場合は、4月から勤務する新しい職場からの証明が必要となります。

※事業所が遠隔地にある等、就労証明書が申請期限までに準備できない特別な事情がある場合はご相談ください。

※同居祖父母も就労している場合は就労証明書が必要です。同居祖父母の就労証明書が添付されていない場合は他の児童より優先順位が下がります。

④就労以外の場合の証明書

[父母の病気、障がい、家族の介護等の場合] 医師の診断書

[学校等に通うことによる場合] 在学証明書

※③、④については、未就学児の保育所等の入所申し込みの際に提出している場合は必要ありません。申請時にお知らせください。

上記の就労、就労以外(病気等)に該当しない人で特段の事情がある場合は、市福祉事務所ににご相談ください。

【開設場所】

校区	児童クラブ名	電話番号
飯野小学校	飯野小学校児童クラブ(体育館横教室)	33-2200
上江小学校	上江小学校児童クラブ(上江保育園内)	33-3265
加久藤小学校	加久藤小学校児童クラブ(加久藤乳児保育園内)	35-1219
真幸小学校	真幸小学校児童クラブ(京町こども園内)	37-0228
	学童保育まさき(真幸認定こども園内)	37-1495
岡元小学校	岡元小学校児童クラブ(岡元小学校内)	37-2481

【注意事項】

・現在、児童クラブを利用している人も、毎年申請を行う必要があります。

・申請期間を過ぎてからの申し込みは市福祉事務所での受け付けとなり、優先順位が期間内に申し込まれた人よりも後になりますのでご注意ください。

・入会希望者が多数となった場合は、保護者の就労状況、家庭の状況および児童の学年(低学年)などを考慮し入会を決定します。近年利用希望者が多く、校区によっては定員超過となり、希望されても入れない状況になっています。今年度は、高学年が入れない児童クラブもあつたため来年度も申込状況(低学年の申請数)によっては、3・4年生以上は入れない児童クラブも出てくる可能性があります。入会できない場合は、お支払いいただいた傷害保険料800円はお返します。

・入会申し込みにあたっては、仕事や子どもの状況など、事前にご家族でよく話し合いを行ってください。

・えびの市放課後児童健全育成事業実施規則に基づき支援員の指示に従わない場合や2カ月以上にわたり滞納した場合等は退会となります。

詳しくは、市福祉事務所子育て支援係までお問い合わせください。

問市福祉事務所 子育て支援係

☎35-3738(直通)

## 飯野小学校放課後児童クラブ支援員および補助員募集

市では、飯野小学校放課後児童クラブの支援員および補助員を募集します。

■支援員(嘱託員)

【募集人員】1人程度

【必要な資格】教員免許または保育士等の資格

【報酬】日額7,450円

【勤務日数】月20日程度(月曜～土曜)※祝日を除く

【その他】社会保険・雇用保険あり

■補助員(パート)

【募集人員】2人程度

【必要な資格】不問(教員免許または保育士等の資格があればなお可)

【賃金】時給790円(教員免許または保育士等の有資格者は850円)

【勤務日数】週3～4日程度(月曜～土曜)※祝日を除く

【その他】社会保険・雇用保険なし

■共通事項

【雇用期間】採用日から令和2年3月31日まで

【勤務時間】[平日] 午後0時30分から午後6時30分まで

[土曜日・春休み期間等] 午前8時から午後6時30分まで(シフト制)

【勤務内容】児童クラブでの児童の保育・支援

【勤務場所】飯野小学校内

【勤務条件】市の職員に準じます

【選考方法】書類選考(市様式の履歴書)と面接

【受付期間】随時

【面接日および場所】

[面接日] 随時 [場所] 市福祉事務所

【応募方法】市指定の履歴書を市福祉事務所子育て支援係に持参または郵送で提出してください。資格のある人は、免許証または資格証の写しも提出してください。

※市指定の履歴書用紙は、市福祉事務所子育て支援係にあります。面接日については後日連絡します。

詳しくは、市福祉事務所子育て支援係までお問い合わせください。

申・問市福祉事務所 子育て支援係

☎35-3738(直通)

## チェーンソー・椎茸原木栽培の初心者向け体験研修会

市内の林業事業者・生産者によるチェーンソー・椎茸原木栽培の初心者向けの体験研修会を開催します。

【開催日】令和2年2月8日(土)

【時間】午前10時～午後3時[受付] 午前9時30分～

【場所】大字末永(市有林)[集合場所] 市役所本庁

【内容】チェーンソーの取り扱いや点検、伐採作業などの技術を学べる研修、椎茸原木(クヌギ)の栽培方法、種駒打ち体験

【定員】15人

【参加費】無料

【準備する物】作業のできる服装(長袖、長ズボン、長靴等)、作業用手袋(手元が滑らないもの)、帽子、タオル、雨具等 ※昼食、ヘルメット、作業用具は主催者側で準備します。

【申込方法】市農林整備課林務係に電話でお申し込みください。

【申込期限】1月31日(金)

申・問市農林整備課 林務係

☎35-3725(課直通)

## ご来場ください「えびの市長旗争奪高校女子バレーボール大会」

今回で10回目となる「えびの市長旗争奪高校女子バレーボール大会」を開催します。宮崎県と鹿児島県から20チームが集結し、2日間にわたって市長旗を懸けた熱い戦いを繰り広げます。どなたでも自由に観覧できます。若さあふれるプレーを、ぜひ、間近でご覧ください。

【開催日】令和2年1月11日(土)・12日(日)2日間

【場所】えびの市民体育館・飯野高校体育館・飯野駅前地区体育館

【試合開始時間】[1日目] 午前9時40分～

[2日目] 午前9時～

問えびの市スポーツ観光推進協議会

☎35-3747



## 所得税、市県民税・国民健康保険税の申告の準備をしましょう

令和2年度（令和元年度）所得税、市県民税・国民健康保険税の申告に向けて、早めに準備を済ませましょう。

### ■農業を営んでいる人へ

#### 【収入・経費の分類整理】

出荷伝票等については、農畜産物ごとに分類整理して保管しましょう。農畜産物の生産に要した費用に係る領収書等についても肥料代、農薬代、飼料代、種苗代、燃料代等、それぞれの経費ごとに分類整理して保管しましょう。また、米や野菜等については、自家消費や贈答用も収入として扱われるので、数量を必ず把握しましょう。※農業の収支内訳書を作成し、申告時に提出されると申告相談をスムーズに行うことができます。収支内訳書の用紙は、1月下旬に全戸配布予定の「税の申告のお知らせ」に同封します。

#### 【牛を出荷した場合】

出荷した牛による収入やそれに要した手数料等を把握する必要があります。「売却証明書」と「セリ売証」については「2枚1組」のまま保管しましょう。※添付または提示がない場合は、免税の適用を受けられません。

### ■確定申告をする人へ

#### 【源泉徴収票】

給与・年金の収入のある人は、その源泉徴収票の添付が必要です。全ての源泉徴収票を大切に保管しましょう。※年金の源泉徴収票は1月中旬に各年金事務所から送付される予定です。

#### 【社会保険料控除】

国民年金保険料等に係る社会保険料控除を受けるには、支払った保険料等の金額を証する書類が必要です。年金保険者等が発行する「控除証明書」を大切に保管しまし

う。

#### 【生命保険料控除・地震保険料控除】

生命保険、介護医療保険、個人年金に係る生命保険料控除を受けるには、「生命保険料控除証明書」が必要です。また、地震保険料控除を受ける場合にも「地震保険料控除証明書」が必要です。大切に保管しましょう。

#### ○申告相談時のマイナンバーの取り扱いについて

社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の導入に伴い、申告書にはマイナンバー（個人番号）の記載が必要となっています。申告相談の際には次のとおり取り扱います。

マイナンバーカードであれば、そのまま記載できます。通知カード（または番号付住民票）の場合は免許証・社会保険証等の提示も必要です。提示する証明書等は写し（コピー）でも構いません。

なお、身分証明書は、免許証等の顔写真があるものは1種類、保険証等の顔写真がないものは2種類必要です。

いずれの場合でも、証明書等の提示が必要ですが、写し（コピー）を提出する必要はありません。

#### ○医療費控除について

病院の通院等に係る医療費控除の適用を受ける人は、領収書や証明書等の整理をお願いします。一昨年より「医療費のお知らせ」によってもその金額の確認ができるようになっていますが、領収書等の金額と二重に計上しないよう十分確認をしてください。

また、「医療を受けた人」、「病院・薬局等」ごとに、金額を仕分けしておくことで申告がスムーズに行えます。

※「医療費のお知らせ」については、基本的に9月または10月までの分しか記載されません。そのため、その記載月以降から12月までの分の金額の確認は、領収書や証明書等が必要となりますので、ご注意ください。

### ■市税務課 市民税係

☎35-3734（直通）

### ■小林税務署

☎23-3126

## 「オレンジカフェよかところ」に参加しませんか

市では、認知症や介護等についての不安や悩みなどを気軽に相談し合える集いの場「オレンジカフェよかところ」を定期的に開催しています。認知症予防につながる脳いきいき体操や催し物等も行っています。関心がある人は子供から大人までどなたでも参加できます。いつもと違う環境の中で新しい刺激を受けて気分転換してみませんか？

【日時】令和2年1月15日（水）午前10時～正午

【場所】市国際交流センター ダイニングホール

【内容】プチ新年会

【参加費】1人100円（飲み物、お菓子代）

【対象】認知症と診断された人や認知症のような症状がある人（診断の有無は問いません）または介護者、内容に関心のある人

【申込方法】当日参加もできますが、可能な限り開催前日までに、市地域包括支援センターに電話でお申し込みください。

■申・問市介護保険課 地域包括支援センター（担当：黒川）

☎35-1112（課直通）

## 市民交流喫茶参加者募集

市民交流喫茶は、「えびのや地域のことを知りたい。えびのをもっと盛り上げたい」と思っている人に参加してもらい、月1回ゲストを招いて講話を聞く楽しいつどいです。同時に地元の食材、産品を試食するなどゲストと

和やかに過ごしてもらいます。参加をお待ちしています。

### ■1月開催

【日時】令和2年1月16日（木）午前10時～午前11時50分

【ゲスト】米盛病院 副院長 富岡譲二氏（えびの市出身）

医師として、主に救急と災害を担当しており、数々の現場で業務を行っています。過去の経験と今後の防災のあり方などをお聞きます。

### ■2月開催

【日時】2月20日（木）午前10時～午前11時30分

【ゲスト】北きりしま田舎物語推進協議会 事務局 千田知佳氏

魅力ある農家民泊を行っており、年々国内外からの体験者が増えている同会の活動をお聞きます。

### ■3月開催

【日時】3月12日（木）午前10時～午前11時30分

【ゲスト】画家（ユニット甌岳主宰・元えびの高原国際専門学校講師）桑原郁郎氏（小林市在住）

国際交流センターでは、桑原氏の絵画展示会を3月3日から3月17日まで行います。アメリカにも長期間在住し、学んできた桑原氏の絵画に対する熱意を語ってもらいます。

### ■共通事項

【場所】市国際交流センター

【定員】30人程度

【参加費】全講話合わせて1,000円（コーヒー等飲み物、試食品代等）

【申込方法】参加者の住所・氏名・電話番号を市国際交流センターに電話でお申し込みください。

【申込期限】1月7日（火）

■申・問市国際交流センター

☎35-3211



### ◎今月の表紙

11月23日、えびの高原屋外アイススケート場で、アイススケート場安全祈願祭が行われました。

今シーズンは、令和2年2月24日まで営業予定です。

### 今月の納税

固定資産税 第3期

国民健康保険税 第6期

後期高齢者医療保険料 第6期

介護保険料 第5期

12月25日（水）までに納めましょう。

人口 18,090人（前月比-17人）

男性／ 8,560人（-4人） 女性／ 9,530人（-13人）

転入／ 29人 転出／ 29人

出生／ 10人 死亡／ 27人

世帯数 8,407世帯（前月比-6世帯）

（令和元年12月1日現在）

焚き火キャンプの取材に行きました。えびの産のお米がおいしいと皆さんたくさん食べていました。うれしくて寒さが気になりませんでした。（東）

あ っという間に2019年が終わろうとしています。1年が過ぎるのを年々早く感じます。あれをしたい、これをしたと思っているうちに過ぎてしまうので、2020年は思ったら即行動を心掛けたいと思います。（久保田）

Editor's





写真:密生して発生するカワラタケ (撮影:平成31年1月18日)

# 「カワラタケ」

最も身近に見られるキノコ

日に日に寒さが増し、植物は葉を落とし、霧島山は暖かな春の訪れを待ちます。生き物の出会いは春までお預けということとはなく、寒い冬にも出会うことができる生き物がいます。

カワラタケ、その名のとおり屋根の瓦のように重なって枯れ木から発生するキノコです。黒色にリング状の白い模様が入るものが多く、人家周辺から山地まで最もよく見られる種類です。

硬質でとても食べられません、地域によっては煮だして飲用にしたり、薬に利用されたりしたそうです。代表的な例として、過去40年間ほど抗がん治療に用いられた歴史もあります。

じつは昆虫たちにとってもカワラタケは重要な存在です。密に重なったキノコとキノコの間をのぞいてみると小さな昆虫たちが隠れています。天敵から身を隠す隠れ家として大活躍。立ち枯れにビッシリとカワラタケが発生している様子を見ると「昆虫マンション」と表現したくなるほどです。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

カワラタケ  
*Trametes versicolor*

タマチヨレイタケ目タマチヨレイタケ科

